

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく
豊川の減災に係る取組方針

【取組進捗にあたる課題の共有と今後の方針(案)】

令和7年5月7日

豊橋河川事務所

取組未実施の要因・課題と今後の方針(案)

- ・ 構成員へのアンケート結果を基に、**取組未実施の要因**や**課題**がある取組内容を抽出した。
- ・ 取組内容、およびR3～R7に取組未実施の要因・課題を踏まえて、**今後の方針**を検討した。
- ・ 現行の取組方針(R3～R7の5か年)の最終年度となる令和7年度に向けて**取組の推進、加速化を図るとともに、次期取組方針(R8以降)への改定**を検討する。

(1) 逃げ遅れゼロに向けた取組み

取組内容 (R3～R7)	取組未実施の要因・課題がある取組内容 ※アンケート結果を踏まえて要因・課題がある取組のみ抜粋して記載。 取組名称は一部抜粋。	取組未実施の要因・課題	今後の方針(案)
① 広域避難計画の検討実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 想定最大規模洪水による洪水浸水想定区域等をもとに広域避難を考慮した避難場所、避難ルートを検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域の浸水被害が少なく、また市域も広く市域を超えた非難が難しいため。 ・ 避難場所等の不足はないため、整備計画なし ・ 体制が整っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き広域避難体制の構築を進める。 ・ 必要に応じて、国、県も支援を実施。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の避難場所、避難路が不足する場合は整備を検討。整備にあたっては、防災ネットワークの検討を踏まえ、避難ルートとして活用するなど、効率的な整備を実施。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣接市等への広域避難体制を構築。 		
② 教育現場での日常的な防災意識の普及・啓発・学習・訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民が水害に直面した際に、適切な行動に移せるよう、地域協働型の取組「みずから守るプログラム」を活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 希望地区があれば実施を検討 ・ 希望地区なし ・ 申込がない ・ 取組の具体に苦慮している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町は自治会等への確認を実施。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災教育支援を実施する学校を教育関係者等と連携して決定し、指導計画の作成支援に着手。 ・ 国の支援により作成した指導計画を、協議会の関係自治体における全ての学校に共有。 		
③ 要配慮者利用施設等の避難確保計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浸水想定区域内の公共施設や災害拠点病院等への情報共有により各施設管理者等への洪水時の情報伝達体制・方法を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体制が整っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国が他圏域での事例を収集し、具体的な対策を紹介。 ・ 市町は段階的に実施を検討。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設や災害拠点病院の機能確保に関する情報を共有し、耐水化、非常用電源等の必要な対策については各施設管理者において順次実施。対策の実施状況について協議会等で共有。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度より実施予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国が他圏域での事例を収集し、具体的な対策を紹介。 ・ 市町は公共施設や災害拠点病院の要請等、支援を行った場合、本協議会にて情報共有を実施。

取組未実施の要因・課題と今後の方針(案)

(1) 逃げ遅れゼロに向けた取組み

取組内容 (R3～R7)	取組未実施の要因・課題がある取組内容 ※アンケート結果を踏まえて要因・課題がある取組のみ抜粋して記載。取組名称は一部抜粋。	取組未実施の要因・課題	今後の方針(案)
④多機関連携型タイムライン作成	<ul style="list-style-type: none"> 水害対応タイムラインを活用して、河川管理者は洪水対応訓練を実施する。 各市は関係機関と連携して避難訓練等を実施して、明らかになった課題等を踏まえ、<u>タイムラインの検証・見直し</u>を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 体制が整っていない 取組の具体に苦慮している 	<ul style="list-style-type: none"> 各機関は出水期を踏まえて、豊川流域タイムライン等の見直し、改善を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> 水害対応タイムラインは公共交通機関等を含めた多機関連携型タイムラインを検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 体制が整っていない 取組の具体に苦慮している 	<ul style="list-style-type: none"> 水防災協議会の構成員である公共交通機関を中心に、豊川流域タイムライン等への追加を検討。
⑤わかりやすい防災情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 浸水被害が生じていない区域の住民の水害に対する意識高揚を目指し、<u>まるごとまちごとハザードマップ</u>の整備について調整・検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 要望がないため 取組の具体に苦慮している 	<ul style="list-style-type: none"> 「まるごとまちごとハザードマップ」の情報提供(取組事例、交付金の紹介)等。
	<ul style="list-style-type: none"> 内閣府が新たに提唱している<u>災害避難カード</u>の普及を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 要望がないため 取組の具体に苦慮している 体制が整っていない 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、検討、実施。 代替手法(マイ・タイムライン等)への読み替えも検討。
	<ul style="list-style-type: none"> DiMAPSの利用促進に向け、全都道府県に対する説明を実施し、都道府県と災害情報共有を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 取組の具体に苦慮している 体制が整っていない 	<ul style="list-style-type: none"> 国からDiMAPSについて情報共有。

取組未実施の要因・課題と今後の方針(案)

(2) 社会経済被害の最小化を目指した取組み

取組内容 (R3～R7)	取組未実施の要因・課題がある取組内容 ※アンケート結果を踏まえて要因・課題がある取組のみ抜粋して記載。取組名称は一部抜粋。	取組未実施の要因・課題	今後の方針(案)
⑥水防計画の立案・水防活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> 浸水被害が生じていない区域の住民の水害に対する意識高揚を目指し、<u>豊川への理解を促す親水空間の整備、維持管理、及びイベントを実施する。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 体制が整っていない 広域の浸水被害がないため 	<ul style="list-style-type: none"> 親水空間の整備、維持管理、及びイベントの検討を行う。 希望する市町は河川事務所へ相談。 河川事務所は市町の相談へ対応。
	<ul style="list-style-type: none"> <u>平常時と洪水時の兼用施設（防災ステーション等）の検討・設置し、関係機関と情報を共有し円滑な水防活動等、活用方針を検討する。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 取組の具体に苦慮している 広域の浸水被害がないため 	<ul style="list-style-type: none"> 希望する市町は河川事務所へ相談。 河川事務所は市町の相談へ対応。
	<ul style="list-style-type: none"> 住民自ら実施する<u>竹林伐採等の活動の支援のために、住民が困っていること等を把握・整理し、必要な対応を検討する。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 取組の具体に苦慮している 体制が整っていない 要望がないため 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会等を通じて、取組事例の共有を行う。 河川愛護団体等とともに、竹林伐開の検討、実施。
⑦流域治水を踏まえたハード対策	<ul style="list-style-type: none"> なし 	—	—